

# 和をもって

第11号

発行  
成相山成相寺京都府宮津市字成相寺339  
TEL0772-27-0018  
<http://www.nariai.jp/>

## 「家内安全」ということ

今年も暑い夏が終わわりいつの間にか秋を迎え、はやくも年末の慌ただしさを思い起こさせる季節と成りました。右往左往しながら停滞している私達を尻目に季節はちゃんと巡ってゆくのですね。皆様方にはお変わりなくお健やかに暮らしの御事とお喜び申し上げます。

最近このようなことがありました。葬儀社を営んでいる友人が悲しそう



に眩くのでした。「ちょっと聞いてくれるかな。」「どうした?」「長らく葬儀屋をしているけど初めて聞いた言葉だから対応出来なかつたんだ。」と、「だから何が?」「この前の葬儀の後、喪主の方がこう言われたんだ。「お金は払うからこの骨を処分して下さい。」って」友人は処分と言う言葉に驚き、その衝撃がいつまでも消化出来なくて困ってしまいい私に話したのです。私も返答に悩みましたが、とても悲しい気持ちになりましたし、その家族関係を想像しても何とも無機質な暖かみのないイメージしか浮かんできません。

近年、遺言書の書き方や家族にあってたノートなど、ご自身の没後に關する商品も多くと聞きます。また実際に高齢者を対象にした法律相談会を開催致しても、殆どが没後の遺産、ご葬儀、または埋葬の形式の相談になるのも事実です。そういった事を

気になさる方が増えてきた要因にも、このような家族関係が少なからずともあるように思います。人生の先輩が何だか後輩達に遠慮をされているようでやり切れない気持ちになるのは、私だけではないと思います。今まで立派に家族や社会の為に歩んでこられた先輩の皆さん、もつと心と胸を張って、若い者などに遠慮しない毎日を楽しんで下さい。先輩のお影で私達はこの様に何不自由なく暮らして行けているのですから。

確かに子供に後々の手間をかけたくないために墓を作らない、年忌の供養も要らない、自由にしてほしい。こう言われる方もいらつしやいます。しかしこれは親の勝手な思い込みかもしれません。お仏壇の前でお勤めをし、お墓参りをした後の何とも言えない清々しさや安心感は殆どの方が経験されているではありませんか。それは自分がどこから来たのかそしてどこに行くのかを示してくれているから感じるのではないのでしょうか。

ご先祖様は何も言葉をかけて下さりません。こちらからの一方通行可もありません。けれどもお位牌やお墓が無ければ、私達の子孫は迷い悲しむでしょう。唯一自分の命の源を確認出来る場所なのですから。

節分の祈願に「家内安全」と願われる方が多くいらつしやります。この意味は何でしょう。現在の家族が幸せに暮らせる事はもちろん、先程申しました様に私達は人生の先輩から守られ学び命を頂いています。過去の先祖様が願ってこられた様に、現在の私達も同様に現在の家族と未来の家族達が事故にあつたり病気になるないように、発展と安寧を仏様に祈り、先祖様に感謝し、永代にわたつて幸せに暮らせる様に祈り、そして行動することなのです。

では「行動する」って何を? 難しそうと言われるかもしれませんが、「いつも、ありがとう」

この言葉が大切にしてみませんか。ありがとうの気持ちから始まり、ありがとうの言葉で終わるように家族で色々話してみして下さい。「最近どう?」とか、「今日の味噌汁おいしかった。」「ありがとう、また作ってね。」とか。解つてるつもりでも当たり前のようでも、きつとそこから新たな発見や、お互いをもつと深く理解する事ができるはずですよ。